

このたびはCASIO製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
 ・「保守・点検事項」をよくお読みの上、保守点検を実施してください。
 ・本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

このクイックスタートガイドには、ダーモカメラを使用し始めるにあたって知っていただきたい基本的な操作方法がまとめられています。
 ・より詳しい情報については、下記の Web サイト「D'z IMAGE STORE」から取扱説明書をダウンロードして、ご確認ください。
<https://dz-image-store.casio.jp/dl/>
 ・取扱説明書を見るために Adobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見ることができない場合は、「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

- 重要**
- 本機のみで診断を行うものではありません。
 - 本機は、撮像素子、レンズおよび照明用の LED などにより構成される皮膚観察用のデジタルカメラです。
 - 本機の定格情報を確認する際は、本機と操作者との距離 40cm 以内を目安にご確認ください。
 - 本機は、観察部位に直接接触させて使用可能な医家向け医療機器です。医師またはその他の医療従事者以外は使用しないでください。
 - 本機は、一般医療機器（クラスⅠ）特定保守管理医療機器（医療機器届出番号：06B2X10006000001）です。

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負いません。
- 本書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

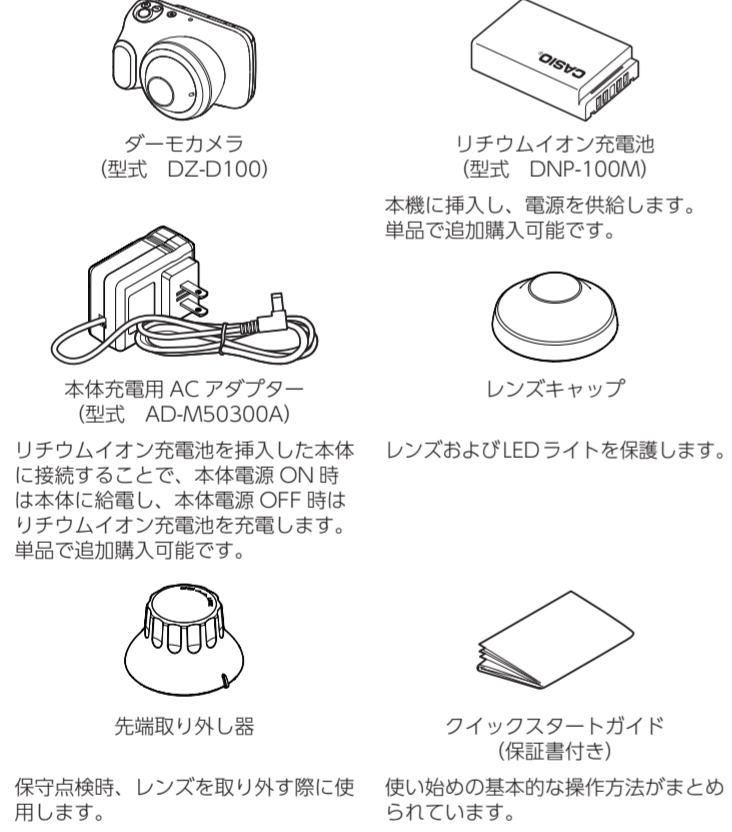
液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は 99.99% 以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

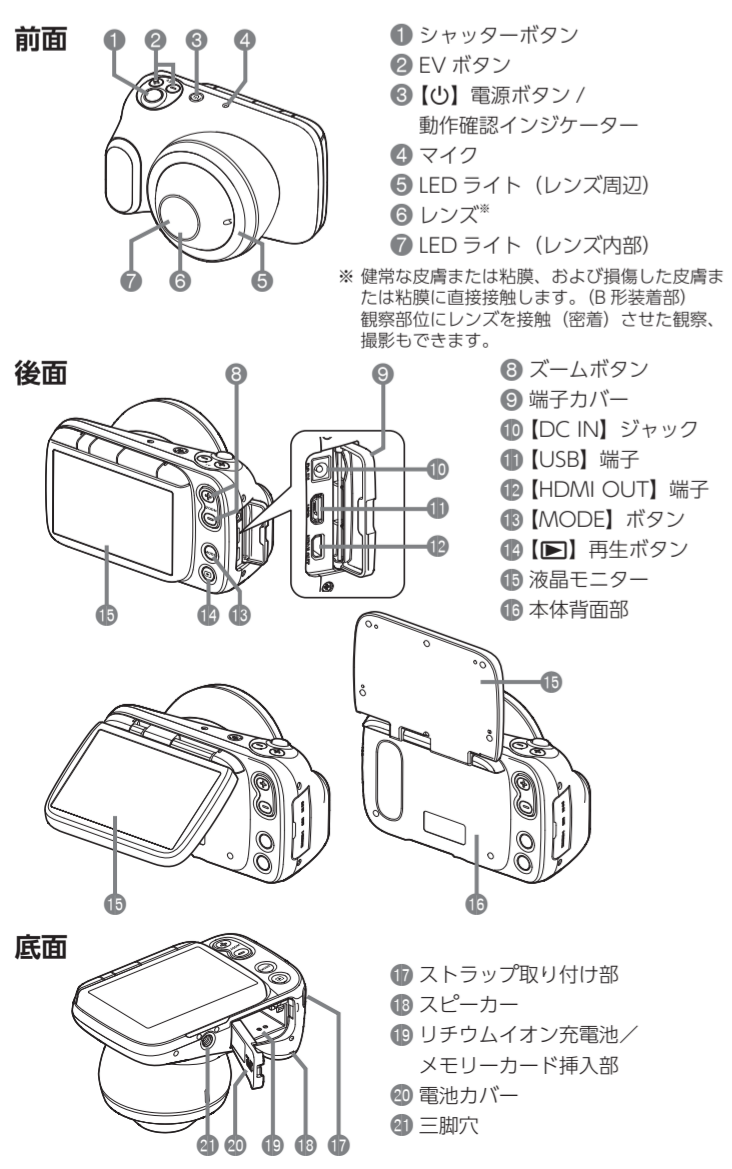
撮影前には試し撮りをする
 必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

同梱品

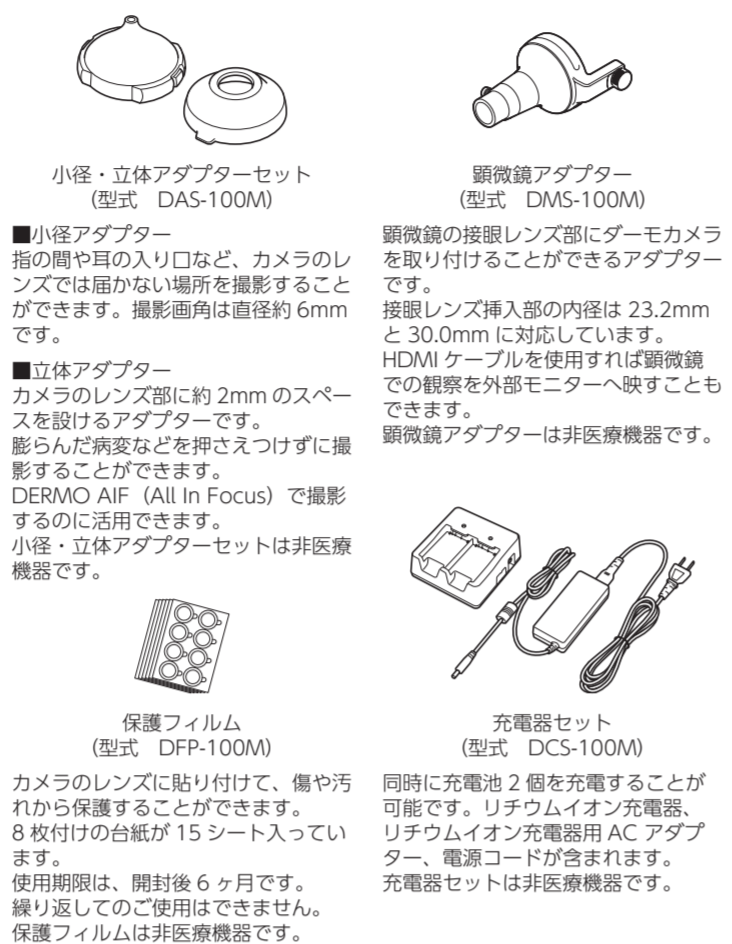
箱を開けたら、次の同梱品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にご連絡ください。



各部の名称



別売品



リチウムイオン充電電池とメモリーカードを入れる

● 本機には、メモリーカードが付属されていません！

本機にはメモリーが内蔵されており、この内蔵メモリーだけで数枚程度の静止画や短い動画は保存できます。よりたくさんの画像を保存したい場合は、市販のメモリーカードをご用意ください。

- 使用可能なメモリーカードは以下のとおりです（2024 年 9 月現在）。
 - SD メモリーカード
 - SDHC メモリーカード
 - SDXC メモリーカード
- SD 規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、SD メモリーカードが 2GB 以下、SDHC メモリーカードが 2GB 超～32GB 以下、SDXC メモリーカードが 32GB 超～2TB 以下です。上記のメモリーカードであっても容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、D'z IMAGE STORE (https://dz-image-store.casio.jp/) にある取扱説明書をご覧ください。本書に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

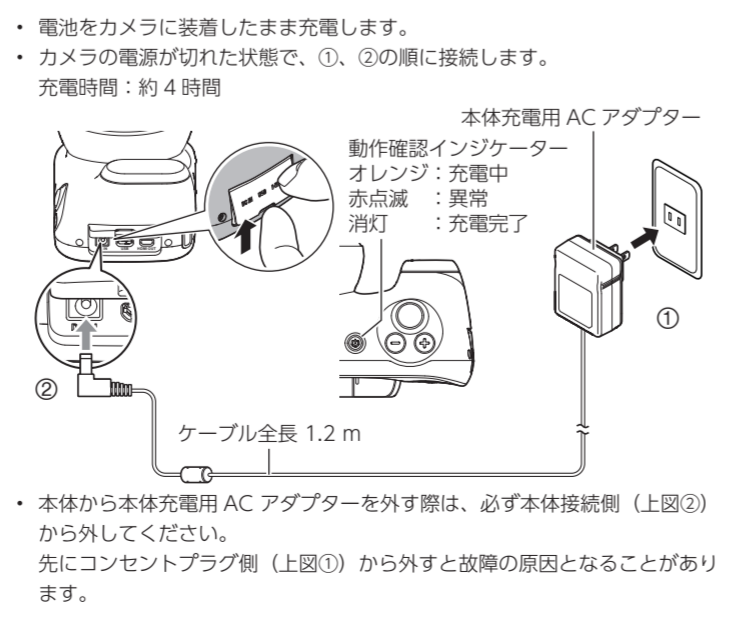
● リチウムイオン充電電池とメモリーカードを入れる



本体の充電方法

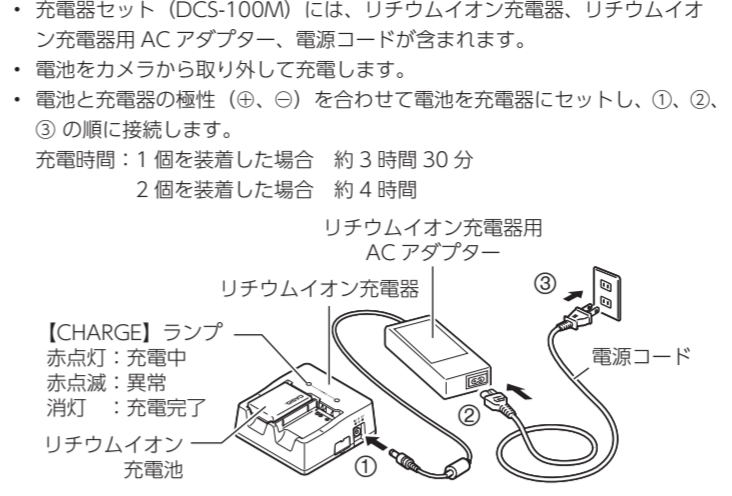
以下の 2 つの方法で充電できます。

● 本体充電用 AC アダプター (AD-M50300A) で充電する



・本体から本体充電用 AC アダプターを外す際は、必ず本体接続側（上図②）から外してください。
 先にコンセントプラグ側（上図①）から外すと故障の原因となることがあります。

● 充電器セット (DCS-100M：別売品) で充電する

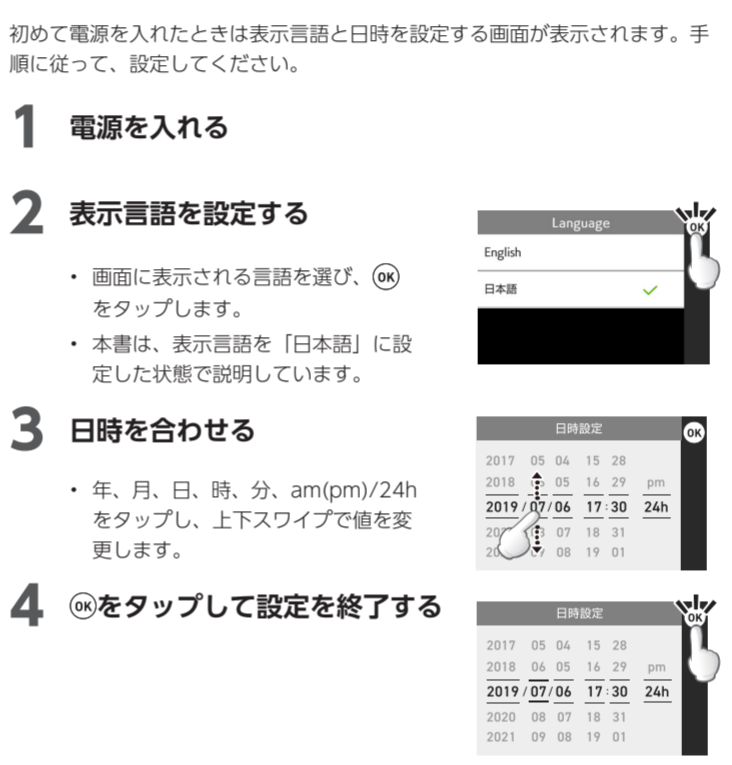


- 重要**
- リチウムイオン充電電池 (DNP-100M) は本書指定の方法で充電してください。
 - 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
 - 充電器セット (DCS-100M) は本機およびその他指定された機器以外には使用しないでください。
 - 充電は、本書で指定した機器をご使用ください。指定以外の機器で充電した場合は、正しく充電できないことがあります。

電源を入れる



表示言語と日時を設定する



撮影の準備をする



- 重要**
- 電源が入らない場合、電池が正しい向きに入っていないことがあります。または、電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください。詳しくは「リチウムイオン充電電池とメモリーカードを入れる」または「本体の充電方法」をご覧ください。
 - レンズが予期せぬ動作をしたとき、エラー画面が表示され、電源が切れます。再度電源を入れても電源が入らない場合は、電池を入れ直し、電源を入れてください。
- ### 2 [MODE] ボタンを押して撮影モードを選択する
- 本機には 7 つの撮影モードがあり、目的に応じて切り替えることができます。
 [MODE] ボタンを押して、(①→②→③→④→⑤→⑥→⑦) を順に切り替えて選択し、LED ライトの種類を選択してください。
 ※ LED ライトの UV 光で観察、撮影する場合は、設定画面で UV [ON] にします。

① [NORMAL]	通常の観察、撮影を行います。(LED ライトを偏光、非偏光に選択して静止画を 1 枚撮影します)
② [DERMO CONT] *1	レンズを接触させた観察、撮影を行います。(同一画角静止画を 3 枚撮影します。LED ライトが偏光、非偏光、UV 光の順番で切り替わります)
③ [DERMO] *1	レンズを接触させた観察、撮影を行います。(LED ライトを偏光、非偏光、UV 光に選択して静止画を 1 枚撮影します)
④ [DERMO AIF] *1	レンズを接触させた立体的病変等の観察、撮影を行います。(LED ライトを偏光、非偏光、UV 光に選択して合成した静止画を 1 枚撮影します)
⑤ [NORMAL (動画)] *2	通常の動画撮影を行います。
⑥ [DERMO (動画)] *1 *2	レンズを接触させた動画撮影を行います。
⑦ [MICROSCOPE]	顕微鏡アダプター (別売品) で撮影を行います。

※ 1 小径アダプターおよび立体アダプター (別売品) で観察、撮影ができます。
 ※ 2 動画最大撮影可能時間は 9 分 59 秒です。

3 カメラを被写体に向ける、または観察部位にレンズを直接当てる



シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しする
 - ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色になります。
- カメラを固定したままシャッターボタンを最後まで押し込む
 - 撮影された画像が保存されます。
 - [☉] をタップして、撮影することもできます。

画像を再生する

- 電源を入れる
- [再生] ボタンを押す
 - 再生モードになります。
- スワイプ操作で前後の画像に切り替える
 - EV ボタンで前後の画像に切り替えることもできます。
 - 動画を再生するときは、動画ファイルを表示して画面中央の [再生] をタップしてください。

画像を消去する

- 電源を入れる
- [再生] ボタンを押す
 - 再生モードになります。
- スワイプ操作で消去したい画像を選択する
 - EV ボタンで画像を選択することもできます。
- [ごみ箱] をタップする
 - 選んだ画像が消去されます。
 - 消去をやめるには、[再生] をタップして再生画面に戻ります。
 - [再生] ボタンまたはシャッターボタンを押して、撮影画面に戻ります。

画像管理ソフトを使用する



本機に搭載されている無線機能と画像管理ソフト「Dz IMAGE Viewer D」を使って、撮影した画像をお使いのパソコンに転送することができます。

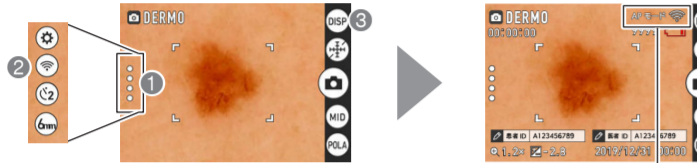
1 パソコンに画像管理ソフトをインストールする

- 画像管理ソフト「Dz IMAGE Viewer D」は下記の Web サイトからダウンロードしてください。「Dz IMAGE Viewer D」の動作環境についても、下記の Web サイトでご確認いただけます。
<https://dz-image-store.casio.jp/dl/#viewer>

- ダウンロードした「Dz IMAGE Viewer D」のインストーラーをダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールしてください。

2 カメラの無線機能をオンにする

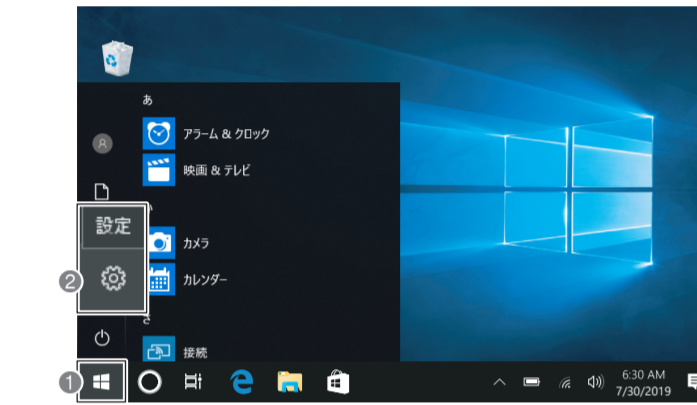
- 画面左端の (呼び出し) をタップします。
- をタップし、無線機能をオンにします。
- をタップして、撮影情報を表示します。
 - 無線機能がオンになっていることを確認してください。
 - 無線機能には、AP モードと STATION モードがあります。モードの設定方法については、Dz IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。



無線機能 オン表示

3 パソコンの Wi-Fi 接続を許可する

- 画面はお使いの OS バージョンやパソコンの設定によって異なります。ここでは Windows 10 (64bit) のデスクトップ画面からの遷移を例にして説明します。
- Windows のデスクトップ画面の スタート から「設定 」をクリックしてください。



- 「ネットワークとインターネット 」をクリックしてください。



- 「Wi-Fi 」をクリックし、Wi-Fi 設定がオンになっていることを確認してください。
- 「利用できるネットワークの表示 」をクリックしてください。



- カメラの SSID を選択してください。
SSID : DZ-D100
パスワード : 00000000
- 個人情報保護のため、パスワードの変更をおすすめします。パスワードの変更については Dz IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。



4 D'z IMAGE Viewer D に撮影した画像を転送する

- パソコン画面の「Dz IMAGE Viewer D」の をダブルクリックしてください。
- 起動画面から「自動転送 OFF」をクリックしてください。



● 商標、登録商標について

Windows, Windows 10 は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

その他の画像転送方法

- メモリーカードまたは USB ケーブルを使って、本機の画像をお使いのパソコンに転送することができます。
- メモリーカードまたは USB ケーブル接続での画像転送方法については、Dz IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、取扱説明書の記載に従って、正しくお使いください。

- 危険** 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
- 警告** 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
- 注意** 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

- 記号は「してはいけないこと」を意味します。(左の例は、分解禁止)
- 記号は「しなければならないこと」を意味します。(左の例は、電源プラグをコンセントから抜く)

警告

本体充電用 AC アダプターについて

- AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。
 - 指定品以外の AC アダプターは絶対に使わない
 - AC アダプターを指定の機器以外には絶対に使わない
 - 電源は、AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントは使わない
 - たこ足配線をしない
 - 布巾、毛布などをかぶせて使わない、熱器具のそばで使わない
 - 重いものを乗せない、電源コードを束ねたまま使わない
 - 重いものを乗せない、ケーブルを束ねたまま使わない
 - 加熱しない、加工しない、傷つけない
 - 無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない
- ぬれた手で電源プラグに触れない。
感電の原因となります。
- AC アダプターや電源コードが傷んだら、「修理に関するお問合せ先」に連絡する。
そのまま使うと、火災・感電の原因となります。
AC アダプターは水がかからない状態で使用する。
水がかかると火災・感電の原因となります。
AC アダプターや電源コードの上に花瓶など液体が入ったものを置かない。
水がかかると火災・感電の原因となります。
- 雷が降り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。
感電の原因となります。

注意

本体充電用 AC アダプターについて

- AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。
 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
 - 使用後は、電源プラグをコンセントから抜く
 - 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない (必ず電源プラグを持って抜く)
 - 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
 - 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃する
 - 電源コード (特に電源プラグやジャック部分) の清掃には、洗剤を使わない

使用上のご注意

■ 網膜や角膜炎の炎症、網膜剥離、視力の低下、失明などの原因となります

- LED ライト照射時の光源は、直視しないようにしてください。
- 観察時に患者の眼に LED ライトが照射されないよう注意してください。

■ 低温やけどの原因となります

- 直ちに熱いと感じられなくても本体背面部が高温になるため、本機の使用時は、触れないようにしてください。

塗りつぶし箇所：
本体背面部

■ 発煙、変色、故障などの原因となります

- LED ライト発光部に触れないでください。
- LED ライトに汚れや異物が付着している状態で発光させないでください。

■ 他の電子機器への影響を及ぼす原因となります

- 植込み型または装着型医療機器をご使用の方に本機を近づけないでください。
- 撮影する場合は、患者の様子に充分注意しながら短時間で撮影してください。

■ 発熱、発火、破裂、失明、火傷、破損などの原因となります

- リチウムイオン充電電池が充電時間を超過しても、充電が完了しない場合は充電を停止してください。リチウムイオン充電電池が発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- リチウムイオン充電電池は金属類と一緒に持ち運びや保管をしないでください。
- リチウムイオン充電電池が発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- リチウムイオン充電電池の漏液で皮膚や衣服に付着した場合は、直ぐに綺麗な水で洗い流してください。皮膚のかぶれ、目に入った場合は、失明の恐れがあります。
- リチウムイオン充電電池が漏液したり、異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。漏れた電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
- 液晶モニターの開閉時に液晶モニターを強く押ししたり、タッチパネル使用時に先の尖った物や硬い物で押ししたりしないこと。液晶モニターが破損する原因となり、割れたガラスによって傷害の恐れがあります。本機は使用環境の温度範囲で使用してください。直射日光の当たる場所や暖房器具等、高温環境での使用は、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 本機を濡らさないまたは濡れた手で操作しないでください。発熱、感電、火災、火傷、故障、破損などの原因となります。
- オートクレープ等による滅菌処理をしないでください。感電、火災、火傷、故障、破損の原因となります。

■ 不正な動作を起こす原因となります

- 電磁波を発する照明機器や通信機器は、本機の近くで使用しないでください。
- 互いに不正な動作を生じる可能性があります。

■ 発熱、発火、破裂、故障、破損などの原因となります

- 落下させる等の強い衝撃を与えないように注意すること。レンズに強い力を加えないこと。発熱、発火、破裂、故障、破損の原因となります。
- カメラ本体をレンズで支えるような撮影方法など、レンズに強い力がかかるようなことはしないでください。
- カメラなどの中に入れる場合はカメラに無理な力が加わらないようにご注意ください。特にレンズは、付属のレンズキャップを付けるなどして保護してください。
- リチウムイオン充電電池および本体充電用 AC アダプター、ケーブル等は必ず指定の製品をご使用ください。指定した製品以外を使用した場合は、破損および誤動作を引き起こす可能性があります。また、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。
- 他の機器と近接させたり、積み重ねて使用することを避けてください。不正確な動作を生じる可能性があります。
- 本機の使用、充電、保管時の臭気、発熱、変色、変形、その他の異常に気づいたときは、直ちに使用を中止してください。使用を継続するとリチウムイオン電池が発熱、破裂、発火する原因になります。
- 本体充電用 AC アダプター、HDMI ケーブル、マイクロ USB ケーブルを使用しないときはカメラ本体から抜いてください。
- 本体充電用 AC アダプター、HDMI ケーブル、マイクロ USB ケーブルを接続した状態で、カメラ側のコネクタに無理な力が加わらないようにしてください。コネクタが破損する可能性があります。

■ 人体への損傷の原因となります

- 観察、撮影時にはカメラのグリップをしっかり握り、落下にご注意ください。
- 特に患者の上で作業するときは、患者に直接落下しないようご注意ください。

■ ウイルス感染、情報漏洩の恐れがございます

- PC (Wi-Fi 経由または USB 経由) と接続する際には厚生労働省の定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した環境で使用してください。
- 所有者が不明もしくは自身が管理していないメモリーカードは使用しないでください。PC をネットワークに接続した環境下で使用する際は、コンピュータウイルスおよび情報漏洩などにご注意ください。

外圧や衝撃、落下など取り扱い上の過失による、レンズや液晶モニター、内部基板などの破損が原因の故障修理は保証期間内でも有償となります。

● 使用環境について

- 使用可能温度範囲：10～30℃
- 使用可能湿度範囲：10～85% RH (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やほこり、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所
 - 高所からの落下などで本体の破損や人体へのけがの恐れのある場所
- 屋内で使用してください。(診療室や在宅診療の家屋内など)

● 無線機能 (無線 LAN) の使用上のご注意

仕向地について

本機の無線 LAN 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

● 電池を長持ちさせるために

消費電力をおさえるため、本機にはスリープ機能とオートパワーオフ機能があります。

- 撮影モードで約 1 分間何も操作しないと、スリープ状態になり、液晶モニターと LED ライトが消灯します。スリープ状態を解除するには、いずれかのボタンを押します。
- 本機を使用中に約 5 分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます (オートパワーオフ機能)。

● リチウムイオン充電電池の取り扱いについて (リサイクルのお願い)

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

Li-ion 00 <最寄りの排出協力店・排出協力自治体へ>

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ <https://www.jbrc.com/>

困ったときは

カメラの充電ができない

- 本体充電用 AC アダプターのケーブルを抜き差ししてください。
- カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。

電源が入らない

- カメラに電池が入っているか確認してください。
- 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください (本書「本体の充電方法」)。充電してもすぐに電池が消耗する場合は、電池の寿命です。別売のリチウムイオン充電電池 (DNP-100M) をお買い求めください。

カメラの電源が切れない、ボタンを押しても動作しない

カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。

電源が勝手に切れた

- オートパワーオフ機能が働いた可能性があります。電源を入れ直してください。
- 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください。

ピントが合わない

- レンズが汚れている可能性があります。レンズの汚れをふき取ってから、もう一度ピントを合わせてください。
- シャッターボタンを半押しせずに撮影すると、ピントが合わない場合があります。シャッターボタンの半押しを確実にに行い、ピントを合わせてください。
- 撮影モードの設定が撮影シーンに合っていない可能性があります。【MODE】ボタンで、目的に応じた撮影モードに切り替えてください (本書「撮影の準備をする」)。

画像管理ソフト「Dz IMAGE Viewer D」と接続できない

- 本機の無線機能がオンになっていることを確認してください (本書「画像管理ソフトを使用する」)。
- モード設定が異なる可能性があります。無線機能のモード設定については、Dz IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。

レンズ内部にゴミなどが付着している

付属品の先端取り外し器を使用してレンズを取り外し、ゴミを取り除いてください。使用方法については Dz IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。ただし、ゴミがレンズ内部に入り込む原因となるため、安易にレンズを取り外さないでください。

アフターサービス窓口について

機能・操作・購入先に関するお問合せ先

0120-088948
番号通知をお願いしております。
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合
03-5334-4613

月曜日～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00 (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)
●本体・別売品の使い方の窓口です。

修理に関するお問合せ先

0120-099775
番号通知をお願いしております。
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合
0237-53-9775

月曜日～金曜日 AM9:00～11:30 PM1:30～5:00
(昼休み2時間は休業) (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)
●故障診断・修理料金・修理期間等の窓口です。

本製品の修理サービスに関する業務はリ形カシオ株式会社が担当いたします。

サイバーセキュリティに関するお問合せ先

下記メールフォームまたはお電話でお受けしています。

- メールフォーム
<http://dz-image-store.casio.jp/contact>

0120-088948
番号通知をお願いしております。
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合
03-5334-4613

月曜日～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00
(土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)

電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。